

## 世界津波の日

### 高校生サミット in黒潮を開催

「世界津波の日」の啓発イベントとして、青少年による国際会議「世界津波の日」高校生サミット in黒潮を本町で開催しました。

日本一の津波想定高にも負けず、住民一丸となって推進してきた、黒潮町の防災が認められ、開催地として選ばれたことは、大変喜ばしいことです。

地震・津波は、多くの人命を奪い、甚大な被害をもたらす各国共通の課題です。今回のサミットは、約30カ国からの高校生が黒潮町に集い、高台避難訓練・津波避難タワー視察のフィールドワークをはじめ、分科会では、活発な議論が交わされました。

サミット開催中について、皆さんのご理解・ご協力をいただきありがとうございました。

## 自主防災力を 継続・向上させよう

阪神・淡路大震災では、生存者を救出できたのは、大部分が3日目まででした。

このような傾向は他の大地震でもみられ、地震発生から最初の3日間は、人命を救助するために非常に重要な「黄金の72時間」と呼ばれています。

人命救助に最も大切な地震発生後の72時間を中心に、県、市町村、防災関係機関などでは、人命を救う応急活動を最優先に行います。しかし、次の南海トラフ地震では高知県の広い範囲で甚大な被害が発生し、公的な救助活動が被災地全域に行き渡らないことも想定されます。そのため、地域で助け合っただけでなく、救済活動を行うことが重要となります。

## 街路灯が寄贈されました

四国電力株式会社より街路灯が寄贈され、10月31日に黒潮町役場で街路灯寄贈式が行われました。寄贈数は3灯です。いずれの場合も夜間は暗く危険な場所でしたが、今回の寄贈によって地域安全の向上が図れました。

### 街路灯整備地区

鞭・大井川・田村地区



## 住宅防火 いのちを守る

### 7つのポイント

#### 3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

#### 4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を適切に設置する
- 寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

火災による死者を出さないためには、1人1人が普段の生活の中で、防火に関する意識を高め、火災予防の対策をすることが何よりも大切です。



お問い合わせ

【本庁】情報防災課

消防防災係 ☎43-2188(課直通)

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係

☎55-3113(直通)